

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ● 第109回 ●

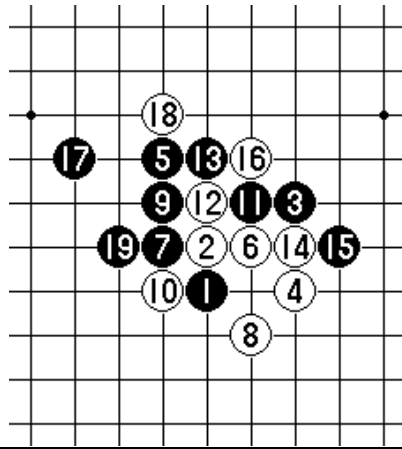
#### ■ ベテランの壁

いよいよ名人戦の季節もなってきた、コロナ禍でも名人戦予選が行われている。昨年はフレッシュな顔ぶれだったが、今年は誰が出場するのか楽しみだ。各地で予選が開催されているが、既に昨年出場したメンバーが次々と敗退している。多くは出場しなかったパターンだが、おそらくコロナが影響しているのだろう。(コロナで日程が変わってしまったのが大きい)

今わかつているだけでも、藤田(麻)、藤田(雄)、田中、館が今期は不出場だ。関西北陸地区も一次戦が行われ、若手とベテランが3枠をかけて戦うことになった。結果は、長谷川、飯尾、林の3名が通過し、紀

藤、田中らの若手を蹴散らした。その戦いぶりを見てみよう。

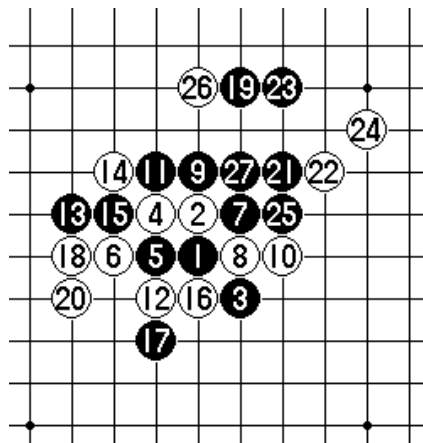
黒…飯尾 白…田中  
黒19にて白投了



疎星を打たれ白4を打った田中二段だが、飯尾八段に黒を持たれ、この5は研究外だったのだろう。白6、黒7の交換で一気に黒が良くなった。白8が短気で、苦しくても反対から叩く所だろうか。黒13に白14でいったん先手が取れるようだが、黒15がまたフクミ手になっていてのが黒の自慢だ。黒17が良くある手筋で、こ

れで防ぎがない。飯尾八段の術中にはまった感じだ。登竜門戦を優勝して勢いがある紀藤三段も名人戦は苦戦した。結果的には全敗してしまったが、まだまだ若いのでこれからが楽しみだ。一応畑五段との一局をご紹介しておこう。

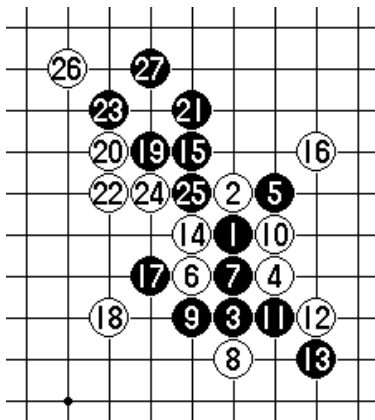
黒…畑 白…紀藤  
白24にて黒投了



丘月黒5と打てば力戦形になる。白18までがちがちの手の殺し合いだが、黒19に手を抜いて白20と欲張ったのは次の黒21がフクミ手になるのを見落とした

ものだ。こういう手抜きは本当に時間をつぎ込んで考えないといけないが、不調な時には見えないものだ。田中二段は長谷川九段に負けたが、最後の林五段戦を勝てばまだ望みがあった。

黒…林 白…田中  
黒27にて白投了



黒15まで進んでこれなら白悪くないはずだが、案外手に迷う。防ぎに回ったが、弱気になってきたのが手に表れている。白24が敗着で、25に防いでまだまだこれから戦いだ。今年もA級リーグは楽しんで見ていきたい。